

ウバタケニンジン

学名 *Angelica ubatakensis* (Makino) Kitagawa

目名

目名学名

科名 セリ科

科名学名 Umbelliferae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: II (VU)

NO IMAGE

【選定理由】

分布域は狭い。本県でも生育地は局限し、個体数は極めて少ない。人による採取や踏みつけで、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	祖母・傾山地,(北川上流域)
分布域	四国,九州(熊本・大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	低山地や山地の岩場。
現状	「祖母・傾山地」の尾根筋の岩の割れ目に生育しているが、個体数も少なく、場所によっては減少傾向がみられる。「北川上流域」の標本はあるが、その生育地は把握されていない。
備考	ソハヤキ要素の植物。基準標本産地[嫗嶽(祖母山)]。国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 祖母傾]